

FIM浴槽シャワー（入院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	320	65.4	65.8	65.8
2	11	2.2	2.3	68.1
3	19	3.9	3.9	72.0
4	36	7.4	7.4	79.4
5	43	8.8	8.8	88.3
6	27	5.5	5.6	93.8
7	30	6.1	6.2	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

FIM浴槽シャワー（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	126	25.8	26.3	26.3
2	22	4.5	4.6	30.8
3	33	6.7	6.9	37.7
4	58	11.9	12.1	49.8
5	89	18.2	18.5	68.3
6	57	11.7	11.9	80.2
7	95	19.4	19.8	100.0
合計	480	98.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	9	1.8		
合計	489	100.0		

FIM歩行車椅子（入院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	233	47.6	47.9	47.9
2	14	2.9	2.9	50.8
3	13	2.7	2.7	53.5
4	27	5.5	5.6	59.1
5	76	15.5	15.6	74.7
6	57	11.7	11.7	86.4
7	66	13.5	13.6	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

FIM歩行車椅子（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	106	21.7	22.1	22.1
2	9	1.8	1.9	24.0
3	10	2.0	2.1	26.0
4	24	4.9	5.0	31.0
5	56	11.5	11.7	42.7
6	117	23.9	24.4	67.1
7	158	32.3	32.9	100.0
合計	480	98.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	9	1.8		
合計	489	100.0		

FIM階段（入院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	378	77.3	77.8	77.8
2	5	1.0	1.0	78.8
3	7	1.4	1.4	80.2
4	14	2.9	2.9	83.1
5	29	5.9	6.0	89.1
6	32	6.5	6.6	95.7
7	21	4.3	4.3	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

FIM階段（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	155	31.7	32.3	32.3
2	8	1.6	1.7	34.0
3	14	2.9	2.9	36.9
4	30	6.1	6.3	43.1
5	69	14.1	14.4	57.5
6	109	22.3	22.7	80.2
7	95	19.4	19.8	100.0
合計	480	98.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	9	1.8		
合計	489	100.0		

FIM理解（入院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	34	7.0	7.0	7.0
2	43	8.8	8.8	15.8
3	58	11.9	11.9	27.8
4	41	8.4	8.4	36.2
5	85	17.4	17.5	53.7
6	44	9.0	9.1	62.8
7	181	37.0	37.2	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

FIM理解（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	26	5.3	5.4	5.4
2	28	5.7	5.8	11.3
3	27	5.5	5.6	16.9
4	27	5.5	5.6	22.5
5	69	14.1	14.4	36.9
6	64	13.1	13.3	50.2
7	239	48.9	49.8	100.0
合計	480	98.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	9	1.8		
合計	489	100.0		

FIM表出（入院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	48	9.8	9.9	9.9
2	41	8.4	8.4	18.3
3	47	9.6	9.7	28.0
4	43	8.8	8.8	36.8
5	75	15.3	15.4	52.3
6	58	11.9	11.9	64.2
7	174	35.6	35.8	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

FIM表出（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	27	5.5	5.6	5.6
2	37	7.6	7.7	13.3
3	26	5.3	5.4	18.8
4	29	5.9	6.0	24.8
5	51	10.4	10.6	35.4
6	79	16.2	16.5	51.9
7	231	47.2	48.1	100.0
合計	480	98.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	9	1.8		
合計	489	100.0		

FIM社会的交流（入院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	38	7.8	7.8	7.8
2	23	4.7	4.7	12.6
3	47	9.6	9.7	22.2
4	24	4.9	4.9	27.2
5	90	18.4	18.5	45.7
6	37	7.6	7.6	53.3
7	227	46.4	46.7	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

FIM社会的交流（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	22	4.5	4.6	4.6
2	12	2.5	2.5	7.1
3	25	5.1	5.2	12.3
4	22	4.5	4.6	16.9
5	53	10.8	11.0	27.9
6	43	8.8	9.0	36.9
7	303	62.0	63.1	100.0
合計	480	98.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	9	1.8		
合計	489	100.0		

FIM問題解決（入院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	75	15.3	15.4	15.4
2	51	10.4	10.5	25.9
3	66	13.5	13.6	39.5
4	57	11.7	11.7	51.2
5	97	19.8	20.0	71.2
6	30	6.1	6.2	77.4
7	110	22.5	22.6	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

FIM問題解決（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	51	10.4	10.6	10.6
2	44	9.0	9.2	19.8
3	42	8.6	8.8	28.5
4	31	6.3	6.5	35.0
5	82	16.8	17.1	52.1
6	67	13.7	14.0	66.0
7	163	33.3	34.0	100.0
合計	480	98.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	9	1.8		
合計	489	100.0		

FIM記憶（入院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	71	14.5	14.6	14.6
2	47	9.6	9.7	24.3
3	69	14.1	14.2	38.5
4	37	7.6	7.6	46.1
5	82	16.8	16.9	63.0
6	23	4.7	4.7	67.7
7	157	32.1	32.3	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

FIM記憶（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	44	9.0	9.2	9.2
2	32	6.5	6.7	15.8
3	43	8.8	9.0	24.8
4	39	8.0	8.1	32.9
5	60	12.3	12.5	45.4
6	56	11.5	11.7	57.1
7	206	42.1	42.9	100.0
合計	480	98.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	9	1.8		
合計	489	100.0		

FIM予測値との差

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効	10	2.0	2.0	2.0
↑	477	97.5	97.5	99.6
↓	2	.4	.4	100.0
合計	489	100.0	100.0	

FIM評価表示

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効	10	2.0	2.0	2.0
↑	477	97.5	97.5	99.6
↓	2	.4	.4	100.0
合計	489	100.0	100.0	

床上安静の指示（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	186	38.0	97.9	97.9
1	4	.8	2.1	100.0
合計	190	38.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	299	61.1		
合計	489	100.0		

床上安静の指示（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	480	98.2	98.4	98.4
1	8	1.6	1.6	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

床上安静の指示（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	466	95.3	95.7	95.7
1	21	4.3	4.3	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

手の持ち上げ（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	183	37.4	97.3	97.3
1	5	1.0	2.7	100.0
合計	188	38.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	301	61.6		
合計	489	100.0		

手の持ち上げ（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	465	95.1	95.3	95.3
1	23	4.7	4.7	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

手の持ち上げ（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	466	95.3	95.7	95.7
1	21	4.3	4.3	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

寝返り（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	110	22.5	57.9	57.9
1	50	10.2	26.3	84.2
2	30	6.1	15.8	100.0
合計	190	38.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	299	61.1		
合計	489	100.0		

寝返り（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	222	45.4	45.5	45.5
1	177	36.2	36.3	81.8
2	89	18.2	18.2	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

寝返り（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	263	53.8	54.0	54.0
1	150	30.7	30.8	84.8
2	74	15.1	15.2	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

起き上がり（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	132	27.0	69.5	69.5
1	58	11.9	30.5	100.0
合計	190	38.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	299	61.1		
合計	489	100.0		

起き上がり（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	309	63.2	63.3	63.3
1	179	36.6	36.7	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

起き上がり（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	353	72.2	72.6	72.6
1	133	27.2	27.4	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

座位保持（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	117	23.9	61.6	61.6
1	62	12.7	32.6	94.2
2	11	2.2	5.8	100.0
合計	190	38.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	299	61.1		
合計	489	100.0		

座位保持（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	285	58.3	58.4	58.4
1	161	32.9	33.0	91.4
2	42	8.6	8.6	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

座位保持（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	330	67.5	67.9	67.9
1	128	26.2	26.3	94.2
2	28	5.7	5.8	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

移乗（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	73	14.9	38.4	38.4
1	80	16.4	42.1	80.5
2	37	7.6	19.5	100.0
合計	190	38.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	299	61.1		
合計	489	100.0		

移乗（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	157	32.1	32.2	32.2
1	210	42.9	43.0	75.2
2	121	24.7	24.8	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

移乗（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	285	58.3	58.5	58.5
1	122	24.9	25.1	83.6
2	80	16.4	16.4	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

移動方法（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	75	15.3	39.5	39.5
1	115	23.5	60.5	100.0
合計	190	38.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	299	61.1		
合計	489	100.0		

移動方法（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	162	33.1	33.2	33.2
1	326	66.7	66.8	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

移動方法（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	285	58.3	58.5	58.5
1	202	41.3	41.5	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

口腔清潔（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	119	24.3	63.3	63.3
1	69	14.1	36.7	100.0
合計	188	38.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	301	61.6		
合計	489	100.0		

口腔清潔（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	220	45.0	45.1	45.1
1	268	54.8	54.9	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

口腔清潔（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	301	61.6	61.8	61.8
1	186	38.0	38.2	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

食事摂取（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	124	25.4	65.3	65.3
1	39	8.0	20.5	85.8
2	27	5.5	14.2	100.0
合計	190	38.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	299	61.1		
合計	489	100.0		

食事摂取（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	280	57.3	57.4	57.4
1	124	25.4	25.4	82.8
2	84	17.2	17.2	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

食事摂取（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	308	63.0	63.2	63.2
1	114	23.3	23.4	86.7
2	65	13.3	13.3	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

衣服の着脱（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	73	14.9	38.4	38.4
1	74	15.1	38.9	77.4
2	43	8.8	22.6	100.0
合計	190	38.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	299	61.1		
合計	489	100.0		

衣服の着脱（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	152	31.1	31.1	31.1
1	178	36.4	36.5	67.6
2	158	32.3	32.4	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

衣服の着脱（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	252	51.5	51.7	51.7
1	111	22.7	22.8	74.5
2	124	25.4	25.5	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

意思の伝達（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	138	28.2	72.6	72.6
1	38	7.8	20.0	92.6
2	14	2.9	7.4	100.0
合計	190	38.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	299	61.1		
合計	489	100.0		

意思の伝達（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	281	57.5	57.6	57.6
1	158	32.3	32.4	90.0
2	49	10.0	10.0	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

意思の伝達（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	308	63.0	63.2	63.2
1	137	28.0	28.1	91.4
2	42	8.6	8.6	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

診療指示の理解（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	168	34.4	88.4	88.4
1	22	4.5	11.6	100.0
合計	190	38.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	299	61.1		
合計	489	100.0		

診療指示の理解（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	330	67.5	67.6	67.6
1	158	32.3	32.4	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

診療指示の理解（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	324	66.3	66.5	66.5
1	163	33.3	33.5	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

危険行動（他病棟）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	171	35.0	89.5	89.5
1	20	4.1	10.5	100.0
合計	191	39.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	298	60.9		
合計	489	100.0		

危険行動（入転院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	376	76.9	77.2	77.2
1	111	22.7	22.8	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

危険行動（退院時）

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	393	80.4	80.9	80.9
1	93	19.0	19.1	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

合併症有無

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 有	17	3.5	3.5	3.5
無	472	96.5	96.5	100.0
合計	489	100.0	100.0	

既往症の有無

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 有	15	3.1	3.1	3.1
無	474	96.9	96.9	100.0
合計	489	100.0	100.0	

リハ医の関与の仕方

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 主治医（リハ専門医）	33	6.7	39.8	39.8
主治医（非専門医）	26	5.3	31.3	71.1
コンサルタント医（リハ専門医）	21	4.3	25.3	96.4
その他	3	.6	3.6	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

カンファレンスの実施状況

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 定期的+随時	449	91.8	91.8	91.8
定期的	40	8.2	8.2	100.0
合計	489	100.0	100.0	

非請求分自主訓練の有無

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 なし	83	17.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

一週間以上の訓練中断の有無

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 あり	2	.4	2.4	2.4
なし	81	16.6	97.6	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

MSWの関わりの有無

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 あり	474	96.9	96.9	96.9
なし	15	3.1	3.1	100.0
合計	489	100.0	100.0	

心理療法処方の有無

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 あり	77	15.7	15.8	15.8
なし	411	84.0	84.2	100.0
合計	488	99.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	1	.2		
合計	489	100.0		

装具の処方の有無

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 あり	71	14.5	14.5	14.5
なし	418	85.5	85.5	100.0
合計	489	100.0	100.0	

PT処方年

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 -9999	2	.4	.4	.4
2010	124	25.4	25.6	26.0
2011	358	73.2	74.0	100.0
合計	484	99.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	5	1.0		
合計	489	100.0		

PT訓練初日年

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 -9999	2	.4	.4	.4
2010	124	25.4	25.7	26.1
2011	357	73.0	73.9	100.0
合計	483	98.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	6	1.2		
合計	489	100.0		

OT処方年

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 -9999	3	.6	.6	.6
2010	124	25.4	25.5	26.1
2011	360	73.6	73.9	100.0
合計	487	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	2	.4		
合計	489	100.0		

OT訓練初日年

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 -9999	2	.4	.4	.4
2010	124	25.4	25.5	25.9
2011	360	73.6	74.1	100.0
合計	486	99.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	3	.6		
合計	489	100.0		

ST処方年

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 -9999	3	.6	.8	.8
2010	106	21.7	28.2	29.0
2011	267	54.6	71.0	100.0
合計	376	76.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	113	23.1		
合計	489	100.0		

ST訓練初日年

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 -9999	2	.4	.5	.5
2010	106	21.7	28.3	28.9
2011	266	54.4	71.1	100.0
合計	374	76.5	100.0	
欠損値 システム欠損値	115	23.5		
合計	489	100.0		

紹介元

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 病院	82	16.8	98.8	98.8
施設	1	.2	1.2	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

前院でのリハ実施有無

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 有	76	15.5	91.6	91.6
無	7	1.4	8.4	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

脳卒中既往歴

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 なし	64	13.1	77.1	77.1
1回	15	3.1	18.1	95.2
2回以上	3	.6	3.6	98.8
不明	1	.2	1.2	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

家族歴

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 脳卒中なし	3	.6	3.6	3.6
SAHのみあり	1	.2	1.2	4.8
不明	79	16.2	95.2	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

確定脳卒中病型中分類

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 ラクナ梗塞	6	1.2	7.2	7.2
アテローム血栓性脳梗塞	9	1.8	10.8	18.1
心原性脳塞栓	12	2.5	14.5	32.5
脳梗塞（その他・不明）	23	4.7	27.7	60.2
脳出血（高血圧性）	10	2.0	12.0	72.3
脳出血（その他・不明）	9	1.8	10.8	83.1
くも膜下出血	4	.8	4.8	88.0
その他	10	2.0	12.0	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

Af

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 なし	69	14.1	83.1	83.1
一過性	7	1.4	8.4	91.6
持続性	7	1.4	8.4	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

高血圧有無

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 有	55	11.2	66.3	66.3
無	28	5.7	33.7	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

糖尿病有無

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 有	23	4.7	27.7	27.7
無	60	12.3	72.3	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

抗凝固療法

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 なし	51	10.4	61.4	61.4
抗凝固療法あり	11	2.2	13.3	74.7
抗血小板療法あり	16	3.3	19.3	94.0
抗凝固+抗血小板療法	4	.8	4.8	98.8
不明	1	.2	1.2	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

発病前Rankin

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	56	11.5	68.3	68.3
1	14	2.9	17.1	85.4
2	7	1.4	8.5	93.9
3	2	.4	2.4	96.3
4	2	.4	2.4	98.8
5	1	.2	1.2	100.0
合計	82	16.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	407	83.2		
合計	489	100.0		

入院時Rankin

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	1	.2	1.2	1.2
2	10	2.0	12.0	13.3
3	14	2.9	16.9	30.1
4	30	6.1	36.1	66.3
5	28	5.7	33.7	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

退院時Rankin

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	12	2.5	14.5	14.5
2	23	4.7	27.7	42.2
3	14	2.9	16.9	59.0
4	19	3.9	22.9	81.9
5	15	3.1	18.1	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

脳卒中再発

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 無	88	18.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	401	82.0		
合計	489	100.0		

JCS (入院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	18	3.7	22.0	22.0
1	36	7.4	43.9	65.9
2	5	1.0	6.1	72.0
3	20	4.1	24.4	96.3
10	2	.4	2.4	98.8
20	1	.2	1.2	100.0
合計	82	16.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	407	83.2		
合計	489	100.0		

JCS (退院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 0	39	8.0	47.6	47.6
1	22	4.5	26.8	74.4
2	7	1.4	8.5	82.9
3	10	2.0	12.2	95.1
10	2	.4	2.4	97.6
30	2	.4	2.4	100.0
合計	82	16.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	407	83.2		
合計	489	100.0		

GCS開眼 (入院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 3	8	1.6	9.9	9.9
4	73	14.9	90.1	100.0
合計	81	16.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	408	83.4		
合計	489	100.0		

GCS開眼 (退院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 2	2	.4	2.5	2.5
3	4	.8	4.9	7.4
4	75	15.3	92.6	100.0
合計	81	16.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	408	83.4		
合計	489	100.0		

GCS言語 (入院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 2	10	2.0	12.3	12.3
3	16	3.3	19.8	32.1
4	24	4.9	29.6	61.7
5	31	6.3	38.3	100.0
合計	81	16.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	408	83.4		
合計	489	100.0		

GCS言語 (退院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	1	.2	1.2	1.2
2	9	1.8	11.1	12.3
3	12	2.5	14.8	27.2
4	16	3.3	19.8	46.9
5	43	8.8	53.1	100.0
合計	81	16.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	408	83.4		
合計	489	100.0		

GCS運動 (入院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 1	1	.2	1.2	1.2
3	4	.8	4.9	6.2
4	6	1.2	7.4	13.6
5	13	2.7	16.0	29.6
6	57	11.7	70.4	100.0
合計	81	16.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	408	83.4		
合計	489	100.0		

GCS運動 (退院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 3	3	.6	3.7	3.7
4	8	1.6	9.9	13.6
5	11	2.2	13.6	27.2
6	59	12.1	72.8	100.0
合計	81	16.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	408	83.4		
合計	489	100.0		

ModifiedAshworthScale

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 筋緊張に増加なし	18	3.7	22.0	22.0
軽度の筋緊張の増加あり。屈伸にて、引っかかりと消失、あるいは可動域終わりに若干の抵抗あり。	34	7.0	41.5	63.4
軽度の筋緊張あり。引っかかりが明らかで可動域の1/2以下の範囲で若干の抵抗がある。	23	4.7	28.0	91.5
筋緊張の増加がほぼ全可動域を通して認められるが、容易に動かすことができる。	5	1.0	6.1	97.6
かなりの筋緊張の増加があり、他動運動は困難である。	2	.4	2.4	100.0
合計	82	16.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	407	83.2		
合計	489	100.0		

麻痺側

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 右	32	6.5	38.6	38.6
左	36	7.4	43.4	81.9
左右	10	2.0	12.0	94.0
麻痺なし	5	1.0	6.0	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

肩手症候群

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 有	8	1.6	9.8	9.8
無	74	15.1	90.2	100.0
合計	82	16.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	407	83.2		
合計	489	100.0		

失語の有無

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 有	24	4.9	29.3	29.3
無	58	11.9	70.7	100.0
合計	82	16.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	407	83.2		
合計	489	100.0		

失行の有無

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 有	10	2.0	12.2	12.2
無	71	14.5	86.6	98.8
不明	1	.2	1.2	100.0
合計	82	16.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	407	83.2		
合計	489	100.0		

半側無視の有無

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 有	13	2.7	15.9	15.9
無	69	14.1	84.1	100.0
合計	82	16.8	100.0	
欠損値 システム欠損値	407	83.2		
合計	489	100.0		

片麻痺機能障害使用スケール

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 Brunstrom	83	17.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

片麻痺12上肢_入院時

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

片麻痺12上肢_退院時

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

片麻痺12下肢_入院時

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

片麻痺12下肢_退院時

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

片麻痺12手指_入院時

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

片麻痺12手指_退院時

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

BS上肢_入院時

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	8	1.6	9.6	9.6
2	12	2.5	14.5	24.1
3	6	1.2	7.2	31.3
4	3	.6	3.6	34.9
5	27	5.5	32.5	67.5
6	25	5.1	30.1	97.6
未実施	2	.4	2.4	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

BS上肢_退院時

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	7	1.4	8.4	8.4
2	7	1.4	8.4	16.9
3	6	1.2	7.2	24.1
4	5	1.0	6.0	30.1
5	24	4.9	28.9	59.0
6	30	6.1	36.1	95.2
未実施	4	.8	4.8	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

BS下肢_入院時

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	1	.2	1.2	1.2
2	17	3.5	20.5	21.7
3	7	1.4	8.4	30.1
4	8	1.6	9.6	39.8
5	24	4.9	28.9	68.7
6	24	4.9	28.9	97.6
未実施	2	.4	2.4	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

BS下肢_退院時

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 2	5	1.0	6.0	6.0
3	9	1.8	10.8	16.9
4	12	2.5	14.5	31.3
5	26	5.3	31.3	62.7
6	27	5.5	32.5	95.2
未実施	4	.8	4.8	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

BS手指_入院時

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	11	2.2	13.3	13.3
2	7	1.4	8.4	21.7
3	9	1.8	10.8	32.5
4	3	.6	3.6	36.1
5	28	5.7	33.7	69.9
6	23	4.7	27.7	97.6
未実施	2	.4	2.4	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

BS手指_退院時

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1	6	1.2	7.2	7.2
2	9	1.8	10.8	18.1
3	5	1.0	6.0	24.1
4	5	1.0	6.0	30.1
5	27	5.5	32.5	62.7
6	27	5.5	32.5	95.2
未実施	4	.8	4.8	100.0
合計	83	17.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	406	83.0		
合計	489	100.0		

SIAS運動機能_膝口テスト (入院時)

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 5	5	1.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	484	99.0		
合計	489	100.0		

SIAS運動機能_膝口テスト (退院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 5	5	1.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	484	99.0		
合計	489	100.0		

SIAS運動機能_手指テスト (入院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 5	5	1.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	484	99.0		
合計	489	100.0		

SIAS運動機能_手指テスト (退院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 5	5	1.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	484	99.0		
合計	489	100.0		

SIAS運動機能_股関節屈曲テスト (入院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 5	5	1.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	484	99.0		
合計	489	100.0		

SIAS運動機能_股関節屈曲テスト (退院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 5	5	1.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	484	99.0		
合計	489	100.0		

SIAS運動機能_膝関節伸展テスト (入院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 5	5	1.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	484	99.0		
合計	489	100.0		

SIAS運動機能_膝関節伸展テスト (退院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 5	5	1.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	484	99.0		
合計	489	100.0		

SIAS運動機能_足パッドテスト (入院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 5	5	1.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	484	99.0		
合計	489	100.0		

SIAS運動機能_足パッドテスト (退院時)

	度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効 5	5	1.0	100.0	100.0
欠損値 システム欠損値	484	99.0		
合計	489	100.0		

SIAS筋緊張_腱反射 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS筋緊張_腱反射 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS筋緊張_筋緊張 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS筋緊張_筋緊張 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS感覚機能_触覚 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS感覚機能_触覚 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS感覚機能_位置覚 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS感覚機能_位置覚 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS関節可動域_上肢（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS関節可動域_上肢（退院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS関節可動域_下肢（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS関節可動域_下肢（退院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS疼痛（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS疼痛（退院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS体幹機能_腹筋力（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS体幹機能_腹筋力（退院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS体幹機能_垂直性（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS体幹機能_垂直性（退院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS視空間認知（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS視空間認知（退院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS言語機能（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS言語機能（退院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS非麻痺側機能_大腿四頭筋力（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS非麻痺側機能_大腿四頭筋力（退院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS非麻痺側機能_握力（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

SIAS非麻痺側機能_握力（退院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_反射（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_a屈筋共同（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_b伸筋共同（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_混合3動作（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_共同運動（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_正常反射（入院時）

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_手関節5動作 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_手指7動作 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_協調運動 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_反射 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_a屈筋共同 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_b伸筋共同 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_座位2動作 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_立位2動作 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_正常反射 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_協調運動 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_バランス7動作 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_感覚_a触覚4ヶ所 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_感覚_b位置覚8ヶ所 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_関節痛_a可動域22ヶ所 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_関節痛_b運動時関節痛22ヶ所 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_A合計 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢運動機能合計 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_E合計 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢運動機能合計 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_H合計 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_J合計 (入院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_反射 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_a屈筋共同 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_b伸筋共同 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_混合3動作 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_共同運動 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_正常反射 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_手関節5動作 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_手指7動作 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢_協調運動 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_反射 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_a屈筋共同 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_b伸筋共同 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_座位2動作 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_立位2動作 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_正常反射 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_協調運動 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢_バランス7動作 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_感覚_a触覚4ヶ所 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_感覚_b位置覚8ヶ所 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_関節痛_a可動域22ヶ所 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_関節痛_b運動時関節痛22ヶ所2

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_A合計 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_上肢運動機能合計 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_E合計 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_下肢運動機能合計 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_H合計 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

FMA_J合計 (退院時)

	度数	パーセント
欠損値 システム欠損値	489	100.0

厚生労働科学研究費補助金

(「全国リハビリテーション患者データベースを用いた維持期障害者に対する
効果的な社会復帰支援に関する研究」研究事業)

総括研究報告書

脳外傷リハデータベースの構築・試用

研究代表者 菊地尚久 (横浜市立大学学術院医学群リハビリテーション科准教授)

研究要旨

リハビリテーションに関するデータベースを新たに作成するにあたり、既存の日本リハビリテーション医学会患者リハデータベースに、維持期脳外傷患者のデータを入力し、その問題点について検討する目的で研究を施行した。対象は高次脳機能障害を有する脳外傷患者 2 施設 30 名で、後方視的に日本リハビリテーション医学会リハ患者データベースの平成 22 年度版脳卒中回復期用データベースに個人入力項目のみを入力し、脳外傷患者に対する適合性について検討した。脳外傷者の医療保険によるリハ継続は少なく、介護保険の適応が厳しい症例が多いことを考えると、自立支援法による制度利用の情報提供が必要であると思われた。認知障害に関しては MMSE で 21 点以下が入院時 70%以上、退院時 60%であった。脳外傷に対してはこの項目を高次脳機能障害として、全般的知能検査、記憶障害、見当識障害、失認、行動障害などの項目を付加する必要があると思われた。

A. 研究目的

本研究の目的はリハ医療を受けた患者に対して、維持期での障害状況、生活環境を基に、その後の社会復帰に対する自立訓練事業の実態調査を行い、どのような支援をどの程度の期間実施することが適切であるかを分析し、障害者の自立生活を支援するサービスに関して、標準的なサービス内容、標準的な利用期間等を提示し、全国のサービスの質の均一化を図るものである。維持期の障害者が就労・地域活動など社会復帰への移行を図ることは障害者自身の QOL を上げるだけでなく、社会全体の障害者にかかるコストを下げ、就労

に伴う社会還元にとって重要であるが、これに関する包括的研究は本邦では少ない。自立支援法や介護保険制度による福祉制度利用は都市部と郊外、あるいは各地方による格差があるのは否めないため、全国的な調査が必要である。またこの研究は福祉施設側からの評価だけでその後の社会活動の予測を行うことは不可能で、急性期医療・リハおよび回復期リハがどのように行われて維持期に至ったかの縦断的な医学的および社会的評価が基礎データとして必須である¹⁾。日本リハビリテーション医学会では平成 21 年度から全国でのリハ医療全般に関わるデータベースを構築し、これに関わる調査研究を進めてきた²⁾。

このデータベースから障害者の身体機能・高次脳機能・ADLの医学的な評価と経過、退院後の生活状況を総合的に把握することが可能で、維持期においてどのような障害が残存し、社会復帰に対して必要な訓練が何かを判断できる。

本研究は急性期・回復期に評価したデータベースを発展させて、在宅での福祉制度利用の種類・期間についての実態調査を全国規模で施行し、その後の就労状況および地域での活動状況に関して調査を行い、福祉制度利用、特に自立訓練事業の内容・期間と社会復帰の関係をモデル化することを目標とする。

その中で脳外傷患者に対するリハビリテーションに関するデータベースは米国ではモデルシステムによるものがあるが³⁾、本邦ではリハビリテーションに関するデータベースが存在しないため、新たに作成するにあたり、既存の日本リハビリテーション医学会患者リハデータベースに、維持期脳外傷患者のデータを入力し、その問題点について検討する目的で研究を施行した。

B. 研究方法

平成 23 年度に神奈川リハビリテーション病院または横浜市総合リハビリテーションセンターに入院あるいは通院した高次脳機能障害を有する脳外傷患者を無作為に 30 名抽出し、患者カルテから後方視的に日本リハビリテーション医学会リハ患者データベースの平成 22 年度版脳卒中回復期用データベースに個人入力の項目のみを入力した(表 1)。尚、必須入力項目は必ず入力としたが、任意入力項目にしては入力医の判断とした。その中で、個々の項目に関して、脳外傷患者に対する適合性について検討した。

表. リハビリテーション患者データベースから検討した項目

1. 患者基本情報

- ①利き手 ②受傷日
- ③身体障害者手帳 ④介護保険申請
- ⑤自宅退院後のリハ継続計画
- ⑥自宅退院後のリハ実施予定施設
- ⑦介護力

2. ADL

- ①日常生活自立度(寝たきり度)
- ②認知症老人の生活自立度
- ③Barthel Index

3. 日常生活機能評価

4. 合併症・既往症

- ①発症後の合併症の有無
- ②リハに影響を与えた既往症の有無

5. 認知障害

- ①HDS-R ②MMSE

6. 片麻痺機能障害

- ①Modified Ashworth Scale
- ②障害側
- ③失語の有無
- ④失行の有無
- ⑤Brunnstrom Stage

C. 研究結果

1. 患者基本情報

利き手に関してはすべて入力されていた。受傷日は全て記載されていた。身体障害者手帳は全て記載があり、3例 10.0%が有、8例 26.7%が未申請、19例 63.3%が対象外であった。介護保険申請は2例 6.7%が有で、うち1例要介護1、1例要支援2、28例 93.3%が対象外であった。自宅退院後のリハ継続計画は医療保険が8例 26.7%、介護保険が1例 3.3%、障害者自立支援制度は1例 3.3%、無が16例 52.4%、不明が4例 13.3%であった。

自宅退院後のリハ実施予定施設は自施設外来が3例、他施設外来が5例、訪問リハは0例であった。介護力は介護力ほとんどなしが8例26.7%、1と3の間が11例33.3%、常時、介護に専念できる者1人分に相当が9例30%、3と5の間が1例3.3%、常時、介護に専念できる者2人分に相当が1例3.3%、その他0例0%、不明0例0%であった。

2. ADL

日常生活自立度に関してはリハ開始時では正常が12例40%、J1が5例16.7%、J2が3例10.0%、A1が6例20%、A2が4例13.3%、B1が2例6.6%、B2、C1、C2は0例であった。退院時では正常が16例53.3%、J1が6例20.0%、J2が5例16.7%、A1が2例6.6%、A2が1例3.3%、B1、B2、C1、C2は0例であった。認知症老人の生活自立度は3例を除き評価不能であった。Barthel Indexに関してはリハ開始時では平均86.4±18.0、退院時では92.2±15.5で、双方とも100点が半数以上を占めた。

3. 日常生活機能評価

日常生活機能評価は後方視的調査であったため、記載がなく、欠損値となっていた。

4. 合併症・既往症

発症後の合併症の有無に関しては有が3例10%、無が27例90%であった。詳細項目に関しては記載がなかった。リハに影響を与えた既往症の有無に関しては有が2例6.6%、無が28例93.3%であった。

5. 認知障害

HDS-RとMMSEに関しては、全てMMSEでの記載で入院時では21点以下が22例73.3%、退院時では18例60%であった。

6. 片麻痺機能障害

Modified Ashworth Scaleに関しては27例90%が0、2例6.7%が1+、1例3.3%が2であった。障害側に関しては3例10%で記載があり、右が1例、左が2例であった。失語の有無に関しては全例なしであった。失行の有無に関しては2例6.7%が有、28例が無で

あった。Brunnstrom Stageに関しては未実施が18例60%、全て6が9例30%、3例は麻痺有で、1例は上肢2、手指2、下肢4、1例は上肢5、手指5、下肢5、1例は上肢5、手指4、下肢6であった。

D. 考察

患者基本情報に関しては、利き手では全て入力されており、この項目は利き手が麻痺した際の利き手交換の必要性などを意図して設けられたと思われるが、高次脳機能障害に関しても、注意障害、失行などがある場合にも必要であり、脳外傷者に対しても必要な項目であると思われた。身体障害者手帳では全て記載があり、自立支援法によるサービス利用を受けるには身体障害者手帳の所持が必要であるので必要な項目と思われた。介護保険申請では2例のみが有で、他は対象外となった。脳外傷者は比較的若年での受傷が多いのと、40～64歳までに適応となる特定疾病に該当しないためと思われた。自宅退院後のリハ継続計画は医療保険と障害者自立支援制度の記載があり、また自宅退院後のリハ実施予定施設では訪問リハは0例であった。脳外傷者の医療保険によるリハ継続は少なく、介護保険の適応が厳しい症例が多いことを考えると、自立支援法による制度利用の情報提供をもっと行うことが必要であると思われた。介護力は退院後準備を行う上で必要な情報であるため記載されたと思われるが、地域生活から社会生活へ移行する際の基盤ともなるため、必要な情報であると思われた。

ADLに関しては、日常生活自立度でリハ開始時では脳卒中と比較して、正常例や軽度例の頻度が入院時、退院時とも高かった。この項目は介護保険に用いられるものであり、介護保険対象者が少ないことから考えて、他にBarthel IndexやFIMで記載されていれば、脳外傷には必要性は高くないと思われた。認知症老人の生活自立度も対象が一致する患者